



# 光れ！ けやきッス



令和7年度

第4号

6月20日

発行者

津久井

文

## 創立記念日特集号～横川西小は124年目を迎えました～

本校の創立記念日は明日、6月21日です。今回の学校だよりでは、創立記念日特集号として本校の歴史についてお伝えします。

### 【開校当時：明治時代】

明治34年（1901年）6月21日に、横川尋常高等小学校より分離独立して誕生しました。江曾島龍泉院を仮校舎とし、学校名は「横川尋常小学校西校」と言いました。児童数は1～4年生で合計126名でした。

開校当時の龍泉院本堂



### 【大正時代】



大正時代の校舎

大正時代の学校名は「横川村尋常小学校西校」と言いました。大正5年（1916年）当時の児童は1～6年生で合計219名でした。その頃から運動会や遠足が実施されていました。大正9年（1920年）には、前年度に発足した野球部が県大会で優勝しました。

### 【昭和時代】

昭和16年（1941年）4月1日に「栃木県河内郡横川村立国民学校」と校名を変更し、児童数は6学級、273名でした。そして戦後まもない昭和22年（1947年）4月15日に「栃木県河内郡横川村立西小学校」と改称し、児童数は7学級、346名でした。その頃PTAの組織もでき、校舎の修理や校庭の地ならしなどの労力奉仕をしていました。



昭和27年ごろの校舎



鉄筋3階建の防音校舎

昭和29年（1954年）9月25日に、町村合併により現在と同じ「栃木県宇都宮市立横川西小学校」と改称し、児童数は8学級、358名でした。昭和48年（1973年）には、現在も使用している鉄筋の新校舎ができ、5月12日には落成式典も行われました。

昭和40年（1965年）頃から児童数が徐々に増え、昭和54年（1979年）には1000名を超えました。昭和55年（1980年）4月1日には宇都宮市立陽光小学校が開校し、本校児童の257名が転校しました。その後、昭和62年（1987年）に現在も使用している新体育館が建てられました。

新しくなった体育館



## 【平成時代】



平成13年（2001年）11月17日には創立100周年記念式典が挙行されました。航空写真も撮りました。

## 【令和時代】

令和3年（2021年）9月29日には創立120周年記念式典が挙行されました。式典終了後には、創立100周年のタイムカプセルを開封したり、創立120周年のタイムカプセルに、20年後の自分に向けて書いた手紙を封入しました。



また、創立120周年を記念して、横川西小学校のキャラクターである「けやきッズ」が誕生しました。

## 校歌について～大切に歌い継いでいきましょう～

現在も大切に歌い継がれている校歌は、創立60周年を記念して昭和36年（1961年）に制定・発表されたものです。それ以前にも校歌はありましたが、昭和16年（1941年）に作られたもので、太平洋戦争勃発当時の世相を反映し、戦時色を感じる歌詞となっていたため、作り変えられました。

作詞は、栃木県が生んだ詩人・作家である泉 漾太郎（いずみ ようたろう）先生、作曲は、童謡の作曲家であり、校歌の作曲家でもある 平岡 均之（ひらおか きんし）先生です。当時、非常に有名だったお二人に作っていただいた自慢すべき校歌です。

ちなみに、2番の歌詞に出てくるポプラの木は、昭和35年度（1960年）の卒業生の記念樹で、「すくすくのびるように」という願いが込められ、校歌の中にもその気持ちを織り込んだそうです。これからも大切に歌い継いでいきましょう。

〔横川西小学校 校歌〕

一 朝雲しずかに流るる空に  
歌ごえあふれる学びの園生  
かがやく希望に結びて集う  
精神に草萌え花かおるなり  
たのしや横川わがふるさとの  
西校文化を育み綴る

二 みどり葉あかるくそよげる窓に  
童心あふれる学びの園生  
伸びゆく智徳を求めて集う  
誠ニポプラの夢あらたなり  
うるわし横川わがふるさとの  
西校歴史を 培い誇る

三 夕陽まどかにうつろう野辺に  
健康あふれる学びの園生  
かかげる理想に誓いて集う  
瞳に男体峰ほがらなり  
なつかし横川わがふるさとの  
西校平和を 営み飾る

校長室にある校歌の歌詞が書かれた額

